

道

2022・1・26

通信 No 1667



すいせん

《まん延防止等重点措置の期間の練習は休止といたします》

《次回練習開始予定》 2月16日(水) 6時~8時(清水・小坂) 場所 吉野町プラザホール

マロースカ・清水先生練習曲全曲楽譜持参。(楽譜詳細については来週の道通信に掲載予定です)

1月19日(水)の今初回の練習日に新旧運営委員会を開催し「まん延防止等重点措置」の発出期間は練習は休止する事を確認しました。19日団員参加者の皆様にも諮り了承を得ましたので報告いたします。

- ① まん延防止等重点期間の間の練習は今まで通り休止とします
- ② 活動休止した場合は先生方への謝礼は6割補償とします
- ③ 1月、2月の団費は3,000円とします
- ④ 休止中「道通信」はHPにアップしますが、見られない方には運営委員がFX・郵送等でお届けします
以上ご協力よろしくお願ひします。

旧街道を旅して(下)

菅野明子

2022年(令和4年)1月8日(土) 晴れ

中山道東下りのゴールの日である。私の長かった街道歩きの後になるかもしれない。コロナの感染が落ち着いた頃から、この日を心待ちしていたのだが、ここにきて心配の種が出てきた。急激に拡大しそうなオミクロン株の出現である。何とか今なら歩けるぎりぎりの日程。その一心である。それだけならまだ良かったが雪まで降った。凍った歩道も怖い。本来なら感慨もひとしおの筈だが、その気も湧かない。そんなこんな心配を抱えながらのスタートとなったが、ありがたいもので一緒に歩いている仲間たちの笑顔で心配は一気に吹き飛んだ。

残りの行程は巢鴨駅から日本橋までのわずか6キロ、寄り道しても午前中に歩ける距離である。巢鴨駅10時出発、日本橋までは基本国道17号線をたどる。白山神社はパスして東大赤門を目指す。逆コースをリーダーの後に続いて歩くグループも見受けられる。京都を目指すのか、それとも近場の散策かそんなことを想像するのも楽しい。「私たちは京都から歩いて来たのよ」と言いたくなる。寒いがお正月明けの青空の下、楽しく街中を歩いているとコロナの心配もどこへやらの心境になってしまう。それが逆に良くないと自分に言い聞かせた。日陰の雪は少し残っている個所もあるが心配していた程ではない。東大構内を左に見ながら進む。赤門から構内に入り見学する予定だったが、工事のため門は閉ざされていた。手前の正門まで戻るのもためらわれてそのまま進んだ。

神田明神の手前で道を間違え裏口から境内に入ると参拝者の大行列。あきらめて門前に下ると本来の中山道に戻った。神田駅手前で町中華の店に入る。総勢10人3卓に分かれる。五目焼きそばに杏仁豆腐がついて750円。大満足の昼食だった。ここまでくれば日本橋までは一投足、三越本店のライオン像を横目に見て、日本橋に到着したのは13時15分だった。大勢の人の行きかう歩道で「日本国道路元標」を背に記念写真を撮り、「中山道東下り」は無事終了した。

どんな時でも一緒に歩いてくれた仲間から感謝します。

運営委員会 2月2日(水) 午後2時半~5時 県民サポートセンター 708号 (新役員体制)